

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんになり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病欠休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細
		基本				発展				
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
第1期	アフラック	○	○	○	○	○	○	○	○	①健康推進室、健康保険組合の「心とからだの健康相談」の設置。 ②社内イントラネットにて公表。 ③テレワークの推奨。必要に応じて執務室変更。 ④上司、人事部、産業医等が、がんになり患した社員からの相談に応じ、社員の個別事情を勘案し、フレックスタイム制度、シフト勤務、短時間勤務を活用する。 ⑤復職面談時に、本人・管理職・人事担当者・産業医等の各部署メンバーが集合し、疾病と就労の両立支援プランを作成する。復職後も定期的に産業医面談を実施し、フォローを行う。 ⑥治療をサポートする支援制度(有給休暇、傷病ストック、傷病欠勤、療養休暇)や、治療と就労を両立させるために利用できる制度(在宅勤務、シフト勤務、療養短時間勤務、時間休暇)設定。がんの再発リスクや治療等の個性に鑑み、がんになり患した場合でも有給の不足を心配せず治療に専念できるよう日数無制限の「リボンズ休暇」(10日まで有給)を設定。通院治療に対応するため、治療と就労を両立できるよう、傷病ストック、リボンズ休暇は1時間での取得を可能とするなど柔軟に活用できるようにしている。 ⑧がんと就労の両立のための各種制度や手続きの案内に加え、休職、復帰後の働き方などについて情報を掲載した「がん・傷病 就労支援ハンドブック」をアップデート、社員に案内。当事者だけでなく、管理職や周囲の社員も理解を深められるよう、社内イントラネットで「がん・傷病 就労支援プログラム」として、がん就労支援に関する情報を一元化して社員に公開。がんやがん就労支援への理解を深めることを目的に「がんと仕事の両立」をテーマにしたe-learningを全社員対象に実施。2017年12月より、がん経験者による社員コミュニティAll Ribbonsを発足、公募により現在22名が参加。メンバーが体験談を共有する社員向けのパネルディスカッションや対話型イベントを実施。両立支援の職場環境づくり強化のため、管理職向けの「職場の「がん治療と仕事の両立支援」講座」を実施(ライン管理職全員を対象とし、のべ440名が参加)。
	株式会社イトー								○	⑥治療・通院などを理由に時間単位で有給休暇を認めている。
	株式会社中国放送	○							○	①健康相談室(週に2回、産業医の来診あり)を設置。 ⑤がん患者とは短時間勤務の嘱託契約、派遣契約を締結する。
	西川ゴム工業株式会社								○	⑤-
	株式会社広島銀行	○	○		○				○	①産業医、保健師による相談窓口の設置。 ②社内イントラネット、社内報等による周知。 ④がんに限らず、治療を行う際の積立休暇制度や短時間勤務制度、長期療養が必要な場合の休暇制度を整備。 ⑥がんに限らず、治療を行う際の積立休暇制度や短時間勤務制度、長期療養が必要な場合の休暇制度を整備。本人とその家族の介護・看護のための休暇制度を整備。 ⑧入院療養が30日を超えて必要な場合の補助金の支給や見舞金の支給制度を整備。
	広島信用金庫	○	○	○	○	○	○	○	○	①人事部を相談窓口としている。 ②何か相談があれば相談窓口(人事部、保健師等)へ連絡するように職員へ周知。 ③休憩室(ヘルスルーム)を設置している。 ④本人の希望や体調に合わせて、勤務時間の配慮を行う体制としている。 ⑤本人の希望や体調に合わせて、柔軟な対応を行うことが可能。 ⑥給与補償や積立傷病休暇制度を設けている。
	株式会社フレスタ				○		○			③在宅ワーク、短時間勤務、休憩室の設置。 ⑤面談でのヒアリング内容を参考に業務内容の変更・見直しを実施。
	株式会社みづま工房								○	⑥特別傷病休暇制度。
	株式会社メンテックワールド	○			○	○	○			①総務担当者2名を相談窓口として設置している。 ④相談の上、時短勤務や勤務時間の変更ができる。 ⑤本人と相談し、希望すれば現場から事務作業への業務内容変更や「何でもやる課」へ部門変更ができる。 ⑥半日単位での有休取得ができる。
	株式会社もみじ銀行	○	○	○	○	○	○	○	○	①自社の健康保険組合を相談窓口としている。 ②相談窓口や産業医相談など社内報などで周知。 ③治療などを理由に在宅勤務が可能。 ④試し出勤、時差出勤、時短勤務など制度あり。他にも希望があれば柔軟な勤務体制とする。 ⑤本人の希望により、人事異動や係替えを実施する。 ⑥治療や通院状況に応じて、半日休暇、有給休暇有り。 ⑧産業医と連携して、実際にがんになり患した社員に両立支援を実践している。がんになり患した社員が、がんであることを理由に退職することが無いように就労支援など、徹底した話し合いを行っている。

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんになり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病欠休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細	
		基本				発展					その他
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
第1期	株式会社リマップラス	○	○	○	○	○	○	○	○	①ー ②担当者が両立支援のための知識を強化するため、県の研修会、資料を活用。 ③オンラインでの研修、執務の取入れを強化。 ④時間出勤を認め、希望に添えるように流動的にシフトを調整できる体制。 ⑤急な休暇について無理がないように、普段から仕事の複数対応を心がける。 ⑥休暇に対して、理由を問わないことで、取りやすい雰囲気を作成する。 ⑧申請可能な支援に対する積極的な利用、情報提供。	
第2期	株式会社オガワエコノス	○	○	○	○	○	○	○	○	①相談窓口(担当者)の連絡先を記載したカード配布。 ②相談窓口(担当者)の連絡先を記載したカード配布。 ③両立支援規程の中に規定。 ④両立支援規程の中に規定。 ⑤両立支援規程の中に規定。 ⑥両立支援規程の中に規定。	
	住友生命保険相互会社	○	○	○	○	○	○	○	○	①ー ②ー ③ー ④ー ⑤ー ⑥ー	
	広島トヨペット株式会社	○				○	○			①総務部。 ⑤罹患者へ向けた業務時間の変更等は実施済み。 ⑥疾病の場合、有休取得を推奨。	
	株式会社福屋	○	○	○	○	○	○	○	○	①相談窓口として保健室・相談室を設け、保健スタッフを3人配置。 ②各事務所へポスターとスケジュールを配布。 ③人事・保健スタッフと本人(時に家族も同席)で定期的に面談を行い、本人・家族・主治医・産業医の意見を取り入れ、治療を行いながらの勤務や、休職して治療に専念し治療後に復職等できるよう職場環境や勤務時間、業務内容等を調整し配慮している。 ④人事・保健スタッフと本人(時に家族も同席)で定期的に面談を行い、本人・家族・主治医・産業医の意見を取り入れ、治療を行いながらの勤務や、休職して治療に専念し治療後に復職等できるよう職場環境や勤務時間、業務内容等を調整し配慮している。 ⑤人事・保健スタッフと本人(時に家族も同席)で定期的に面談を行い、本人・家族・主治医・産業医の意見を取り入れ、治療を行いながらの勤務や、休職して治療に専念し治療後に復職等できるよう職場環境や勤務時間、業務内容等を調整し配慮している。 ⑥人事・保健スタッフと本人(時に家族も同席)で定期的に面談を行い、本人・家族・主治医・産業医の意見を取り入れ、治療を行いながらの勤務や、休職して治療に専念し治療後に復職等できるよう職場環境や勤務時間、業務内容等を調整し配慮している。 ⑧(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講。	
	株式会社福山臨床検査センター	○				○	○		○	①相談窓口を設置している。 ⑤本人の希望によって、業務内容の変更、配置換えに応じている。 ⑥優先的に休暇を取得できるよう配慮している。時間単位の有給休暇も取得可能。 ⑧会社負担によるがん保険の加入を実施している。	
	復建調査設計株式会社								○	⑥年次有給休暇の失効分を最大50日分積み立てる「積立有給休暇制度」を就業規則で定め、がんを含め業務外の傷病等に活用でき、治療しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、時間有給休暇を導入して、フレキシブルに対応可能な制度作りに取り組んでいる。	
	三菱ケミカル株式会社			○	○	○	○			③がん治療に限らず、在宅勤務の利用可。 ④がん治療に限らない、私傷病短時間・小日数勤務について検討中。 ⑤がん治療に関わらず、就業制限を含めた配慮の要否について都度確認。 ⑥有給の時間取得について次年度実施に向け検討中。	

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんになり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病気休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細	
		基本		発展				その他			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
第2期	株式会社ユニバーサルポスト	○	○	○	○	○	○			①管理本部総務担当を窓口として設置。 ②全社員に周知されている。 ③職種によるが、在宅勤務制度あり。 ④時差出勤制度あり。その他は事情に応じて配慮。 ⑤希望に沿えるよう、臨機応変に対応。 ⑥半日、時間単位の有給休暇。傷病限定の有給休暇。	
第3期	株式会社ウメソー			○	○	○	○			③- ④- ⑤通院等、本人からの要請に対応。 ⑥-	
	株式会社大之木ダイモ	○	○		○	○	○			①管理部長を雇用管理改善の相談窓口としている。 ②入社時に書面で相談窓口および連絡先を伝えている。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できるようフレックスタイム制を導入した。 ⑤本人の希望をふまえた業務内容・配置替え等の見直しに応じる。 ⑥時間単位の有給休暇を取得できる。	
	小田徳株式会社			○				○		③テレワーク環境の整備 ⑥休暇の融通	
	オリンバス株式会社	○	○	○	○	○	○			①本社に相談窓口として常勤看護師を配置し広島支店担当者が対応。 ②社内データベースにて周知。 ③治療や副作用を理由とした在宅勤務の利用。つらい時横になれるソファベッドの設置。 ④通院等で利用できるフレックス制度(時差出勤)や短時間勤務を設けている。復帰の際、徐々に勤務時間を延ばすソフトランディング制度がある。 ⑤本人の希望や状況を踏まえて、業務内容や職場の配置換えなど柔軟に対応することができる。 ⑥治療や通院に利用できる休暇制度(私傷病年休付与)が一般の年次有給休暇とは別に設定されている。半日単位の有給休暇を認めている。	
	中国エンジニアリングサービス株式会社	○	○								①総務部が相談窓口となっている。 ②総務部が相談窓口であることは社内周知済みである。
	中国醸造株式会社	○						○	○		①管理部。 ⑤本人の体調に合わせた業務内容、担当に変更可能。 ⑥時間単位の有給休暇制度あり。
	ツネインカムテックス株式会社	○						○	○	○	①総務担当者を相談窓口としている。 ⑤本人の希望や副作用の状況などにあわせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療・通院などを理由に半日単位で有給休暇を認めている。 ⑧実際にがんになった社員に対して、会社としてサポートを行い、両立支援を実践した。
株式会社データホライゾン	○	○	○	○	○	○				①人事担当者が対応。 ②人事担当者が対応。 ③休憩室の確保。 ④短時間勤務、リハビリ出勤の推奨。 ⑤本人と面談し、体調に合わせ柔軟に対応。 ⑥有給休暇や、体調に合わせた勤務を柔軟に対応。	
三井住友海上火災保険株式会社	○	○	○	○				○		①- ②- ③- ④- ⑥-	

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんになり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病気休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細
		基本				発展				
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
第3期	淀鋼商事株式会社	○	○		○	○	○	○	○	①健康委員を委嘱し、担当者として設置。 ②心身等の健康に関する相談窓口周知し、顧問医と連携を図る。 ④通院等を認め、勤務時間を配慮。 ⑤従事する作業内容を変更し、必要に応じて配置替え等の部署異動を実施。 ⑥通院等、休暇を取得しやすい勤務体制を整備。 ⑦がん治療と仕事の両立支援、基礎知識に関するテーマを受講。 ⑧り患社員に対して働きやすい環境づくりを整備し、サポートを実施。
	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	○	○	○				○		①健康保険組合による専門カウンセラーの無料相談窓口有り。 ②社員が閲覧できる社内HPに連絡先を掲載。 ③休憩室の設置。 ④ライフサポート休暇制度有り。※時間単位での取得可能。 ⑤本人の希望等を踏まえ、働きながら治療できる環境づくりを部署内で話し合い、整えるようにしている。
第4期	長岡商事株式会社							○	○	⑥有給休暇を消化した後も、月に15日以上出勤していれば、減給されることはない。
	株式会社バルコム				○	○	○	○		③申し出があった場合には対応可能。 ④申し出があった場合には対応可能。 ⑤申し出があった場合には対応可能。 ⑥申し出があった場合には対応可能。
	福山通運株式会社							○		⑤本人の意向を尊重し、産業医等の意見を踏まえながら、勤務内容の見直しを行っている。
	株式会社ベルアーヂュ							○	○	⑤送迎業務の中止等。 ⑥受診時の時間単位の有休付与。
	みずほ証券株式会社	○	○	○						①全社的に統合窓口を開設。 ②社内イントラを通じて周知。 ④定期的ながん検診受診のための時期の確保。
第5期	株式会社ECS	○	○	○	○	○	○	○	○	①管理部において相談窓口を設置。 ②相談窓口があることを全社会議で周知。 ③在宅勤務制度を制度化中。 ④復帰の際には、徐々に勤務時間を延ばすなどの配慮がある。 ⑤本人の希望を踏まえその状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療、通院などを理由に半日単位の有給休暇を認めている。 ⑧社員を会社負担でがん保険に加入させており、がんになっても経済的不安なく治療を続け復帰できるよう備えている。
	川中醫油株式会社	○			○	○	○			①相談担当窓口、総務部。 ④面談(本人・所属長・総務)を経て、時短勤務、慣らし出勤等が可能な制度がある。 ⑤面談(本人・所属長・総務)を経て、業務内容や量の変更、配置転換等が可能な制度がある。 ⑥午前・午後の単位で有給休暇取得が可能。
	株式会社熊平製作所	○	○	○	○	○	○	○	○	①社内医務室に相談窓口を設置。 ②社内イントラでの周知。 ③治療や副作用を理由としてテレワークを認めている。医務室で休養を取ることが可能。 ④フレックス制度を利用し体調に合わせた勤務の配慮。 ⑤本人の希望や副作用に合わせ、業務内容も柔軟に見直している。 ⑥治療・通院などを理由として有給休暇有り。 ⑧現在闘病中の方へのサポートを行い両立支援できている。
	株式会社サタケ	○	○	○				○		①人事相談室、ダイバーシティ相談室、保健室(健康相談窓口)。 ②相談室を会社組織として位置づけ、健康相談窓口は社内LANに設けた。 ③制度としては無いが、人事相談室において両立できる働き方を考えている。 ⑥2時間単位年休、時効消滅した年休の積立制度、病気休職制度あり。
	株式会社ジェイ・エム・エス							○	○	⑤フレックス勤務制度を導入し、従業員の支援体制を整えている。
株式会社ダック	○	○								⑥フレックス勤務制度を導入し、従業員の支援体制を整えている。 ①健康診断等に関する窓口を総務部で統括 ②健康診断等に関する窓口を総務部で統括

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんりにり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病気休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細
		基本		発展				その他		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
第5期	中外テクノス株式会社	○	○	○	○	○	○			①総務担当者を相談窓口としている。 ②何か相談があれば、総務本部に連絡がある。 ③在宅勤務、時差出勤の許可。 ④在宅勤務、時差出勤の許可。 ⑤業務内容の変更可。 ⑥半日有休の上限の緩和。
	株式会社中国新聞社	○	○	○	○	○	○			①産業医、保健師などが常駐し、随時、相談に応じています。 ②社内HPで周知しています。何か相談があれば総務担当者にメールをするように全社員に資料を配布済みです。 ③治療や副作用を理由としてテレワークを認めています。いつでも利用できる休憩室を直営診療所内に設置しています。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できる時差出勤(または短時間勤務など)制度を設けています。復帰の際、復職委員会による復職プログラムを策定し、徐々に勤務時間を延ばしていくなど配慮をしています。 ⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すように配慮しています。 ⑥治療・通院などを理由に時間単位(または半日単位など)で有給休暇を認めています。
	株式会社ちゅびCOMふれあい	○			○	○	○			①総務担当者が受付。 ④本人と相談、配慮しながら進めていきます。 ⑤本人の希望、医師の判断を尊重しながら進めていきます。 ⑥半日取得(有給休暇)を認めている。
	株式会社鶴田電設コンサルタント	○	○		○	○	○		○	①総務部のがん罹患者を担当者にし、相談窓口とする。 ②会社に報告された健康診断に基づき担当者から声掛け実施。 ④通院時間に合わせて勤務時間の変更。 ⑤本人の体調や担当現場にあわせて勤務内容の変更。 ⑥治療や通院にあわせて有給休暇の使用。 ⑧法人会がん保険制度による保険料が割引になるがん保険加入希望者を募る。がんり患者への会社として両立支援サポートを実施。
	株式会社東京海上日動パートナーズ中国四国	○		○	○	○	○			①東京海上日動社の保険に加入し、当該保険のサービスである、がん専用相談窓口を従業員が使用できるようにした。 ③いつでも利用できる休憩室の設置。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できる時差出勤(または短時間勤務など)制度を設けている。 ⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療や通院に利用できる休暇制度を設けている。
	都市環境整備株式会社	○	○		○	○	○			①各部署の長が第一の相談窓口となるように指導している。 ②朝礼等で社員に伝えている。 ④本人や家族の通院に関する希望に応じた勤務体系となるように調整している。 ⑤本人の希望に応じた勤務体系とする準備ができています。 ⑥治療や通院に利用できる休暇制度を設けている。
	広島エフエム放送株式会社	○							○	①総務経理部を相談窓口としている。 ⑥半日休暇、有給休暇を利用しやすい雰囲気を作り、治療・検査と仕事が両立できる環境を作っている。
	広島ガス株式会社	○	○		○	○	○			①がんに限らず健康相談窓口として保健室(保健師)を設置。 ②健康相談日を社内インターネットにて毎月周知。 ④私傷病休暇制度、半日有休、フレックスタイム制度。 ⑤産業医の所見に基づき就業配慮等を実施。 ⑥私傷病休暇制度、半日有休、フレックスタイム制度。
	広島中央ヤクルト販売株式会社	○	○						○	①相談窓口について、社内掲示及びグループウェアによる周知。 ②相談窓口について、社内掲示及びグループウェアによる周知。 ⑥時間単位有給制度有り。

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんになり患した社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病欠休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細
		基本				発展				
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
第5期	広島電鉄株式会社	○		○	○	○	○		○	①社内の保健師を相談窓口としている。 ③在宅勤務制度を採用。 ④時差出勤、短時間勤務制度を採用。 ⑤復職前に面談を実施し、本人の希望を最大限に配慮した勤務調整。 ⑥半日単位の有給休暇制度を採用。 ⑧実際にがんになった社員に対して、会社としてサポートを行い、両立支援を実施。
	株式会社広島ホームテレビ	○	○	○	○	○	○		○	①社労士による就業相談窓口の設置。 ②安全衛生委員会など社内会議で周知。社内LANに掲示し、社内に周知。 ③部署内でシフトを調整し、在宅勤務を可としている。いつでも利用できるリフレッシュルームを設置。 ④時差出勤の導入(治療、通院等に使用可)。 ⑤本人の希望や状況等にあわせ、産業医のアドバイスを踏まえて、業務内容に配慮している。 ⑥年次有給休暇の繰越分100日を限度に、がんを含む傷病の治療、療養等に利用できる「積立休暇制度」を実施。 ⑧実際にがんになった社員に対して、会社としてサポートし両立支援を実践した。産業医が毎月2回来社し、必要に応じて面談を実施している。
	豊国工業株式会社	○		○	○	○	○			①相談窓口を設置した。 ③在宅勤務を行った。 ④可能な限り本人の裁量で労働できるよう配慮した。 ⑤可能な限り本人の裁量で労働できるよう配慮した。 ⑥可能な限り本人の裁量で労働できるよう配慮した。
	マイライフ株式会社	○		○			○		○	①人事部労務課。 ③両立が可能な店舗への異動の検討。 ⑥1時間単位の有給休暇。 ⑧がんになり患したことで離職した社員の再雇用制度。
	有限会社八千代運輸倉庫	○	○	○	○	○	○			①相談窓口として担当者を設置。 ②社内通達で全社員に周知。 ③在宅勤務を勧める等、勤務環境を配慮。 ④短時間勤務を勧める等、勤務時間を配慮。 ⑤本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し。 ⑥半日有給休暇等、休暇に関する配慮。
	株式会社山崎本社	○			○	○	○		○	①役員1名と総務担当者を相談窓口としている。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できるよう配慮。 ⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療に専念し、復職可能となるまで休暇を取ることができる。 ⑧実際にがんになった社員に対して、会社としてサポートを行い、両立支援を実践した。
	株式会社有文社				○	○	○	○		③患者が出た場合は、配慮する予定。 ④患者が出た場合は、配慮する予定。 ⑤患者が出た場合は、配慮する予定。 ⑥患者が出た場合は、配慮する予定。
第6期	株式会社アクアシステム	○				○	○			⑤本人の希望、状況に合わせて業務内容を見直すことができる。 ⑥治療、通院等で有給休暇を認めている。
	アヲハタ株式会社	○	○	○	○	○	○		○	①各職場人事担当者を相談窓口としている。産業医への相談。 ②産業医健康相談日を月1回実施(必要に応じて都度対応)。 ③在宅勤務制度有り。治療や副作用を理由として在宅勤務を認めている。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できるよう時差出勤(または短時間勤務等)制度を設けている。復帰の際、産業医と相談し、徐々に勤務時間を延ばしていく等配慮がある。 ⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療・通院などを理由に半日単位で有給休暇を認めている。 ⑧実際にがんになった社員に対して、会社としてサポートを行い、両立支援を実践した。

Teamがんで対策ひろしま 令和元年期(R1.8.1~R2.7.31) 取組実績一覧表

治療と仕事の両立支援体制を整備し、がんにかかった社員を支援する。

※目標:相談窓口(担当者)を設置し、両立支援を行う体制を整える。

【取組内容】	
①	相談窓口もしくは担当者の設置
②	相談窓口もしくは担当者の社内周知
③	勤務環境の配慮(治療等に使える在宅勤務(テレワーク)制度、執務室の変更、休憩室の設置等)
④	勤務時間の配慮(治療等に使える時差出勤、短時間勤務、試し出勤制度等)
⑤	勤務内容の配慮(本人の希望を踏まえた業務内容の変更・見直し対応、配置替え等)
⑥	休暇に関する配慮(時間単位の有給休暇、傷病・病欠休暇等)
⑦	県実施「出前講座」(両立支援)の受講
⑧	その他の取組(両立支援の実現、会社単位でのがん保険加入、(独)労働者安全機構が実施する両立支援コーディネーター基礎研修の受講、国の「治療と仕事の両立支援助成金」の申請・受給等)

登録期	登録企業名	取組内容								取組内容の詳細
		基本		発展				その他		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
第6期	株式会社アンフィニ広島	○	○		○	○	○			①総務部を相談窓口としている。 ②相談窓口が総務部であることを全社員に周知している。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できるよう、フレックスタイム制度を設けている。 ⑤治療と仕事が両立しやすい環境に配慮し、り患社員の希望を踏まえ、職種や勤務場所の変更などの対応をしている。 ⑥社員規程で、私傷病により勤務できない場合の休職期間を設けている。
	江田島バス株式会社	○			○		○			①がん検診推進員が相談対応。 ④通院、健康管理に必要な勤務時間の割振りを可能にしている。 ⑥半日単位の有給休暇を認めている。
	北川冷機株式会社						○	○		⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直し変更することができる。 ⑥治療や通院などを理由に半日単位で有給休暇を認めている。
	三洋企業株式会社	○	○		○	○	○			①総務部を相談窓口としている。 ②何か相談があれば総務担当者にメールをするように全社員に伝達。 ④通院に合わせて勤務時間を変更できるよう時差出勤(または短時間勤務など)制度を設けている。復帰の際、徐々に勤務時間を延ばしていくなどの配慮がある。 ⑤本人の希望や副作用などの状況に合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療・通院などを理由に時間単位(または半日単位など)で有給休暇を認めている。
	JA共済連広島	○							○	①希望する職員に対し、定期的な産業医面談を実施する。 ⑥120日以上休業する場合、療養休職を認めている。療養休職期間について、療養援助金を支給する。連続して1週間以上の療養休暇が必要な場合には、年次有給休暇とは別の積立有給休暇を取得することができる。
	シモハナ物流株式会社	○								①総務担当者を相談窓口としている。
	高千峰金物株式会社	○								①担当者の設置。
	株式会社竹下建設	○	○			○	○			①総務担当者を相談窓口としている。 ②何か相談があれば総務担当者に連絡するように全社員に資料を配布。 ⑤本人の希望や副作用の状況などに合わせて、業務内容を柔軟に見直すことができる。 ⑥治療・通院などを理由に、時間単位(または半日単位など)で有給休暇を認めている。
	株式会社ダスキンプロダクト中四国	○					○	○		①傷病後の復帰については管理部が担当。 ⑤がん罹患者に関わらず、傷病後復帰の人については状況に応じて本人と協議し配慮している。 ⑥時間単位の有給休暇取得可能。
	株式会社西井製作所	○								①社長又は総務担当者を窓口としている。
	株式会社白鳳堂	○	○		○	○				①本社マネジメント部総務担当。 ②朝礼等で周知済。 ④ー ⑤ー
	広島日野自動車株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	①総務部の中に担当者を2名配置。 ②管理職には安全衛生会議にて、がん検診推進委員や他社員には掲示板などで周知。 ③本人の状況に応じて対応している。 ④本人の状況に応じて対応している。リハビリ期間を設定し、本人の無理のないように業務復帰できる環境や人事を考慮している。 ⑤本人の状況に応じて対応している。本人へのヒアリング後、適所に配属を変更させている。 ⑥時間単位の有給休暇の取得を推奨している。 ⑧担当者が両立支援のセミナーを受講。
	株式会社松浦造船所	○								①総務部を相談窓口としている。
	三次貨物運送有限会社	○	○	○	○	○				①総務担当者に相談できる窓口を設置。 ②総務担当者にいつでも相談できることを掲示で周知。 ③いつでも利用できる休憩室を設置。 ④長距離運行をせず、毎日自宅に帰れる仕事に変更。 ⑤治療・通院ができるように仕事内容を変更。

※がん対策課が定める期限までに実績報告書の提出があったものを掲載しています。